「たまかわくらしワークスタイルサポート体制構築事業」 業務委託仕様書(案)

1 事業目的

「たまかわくらしワークスタイルサポート体制構築事業」(以下、「本事業」という。)では、現役世代の移住・定住を促進するため、たまかわくらし(※1)の「職」に関して、たまかわくらしサポーターセンター(以下、「センター」という。(※2))が多様な選択肢を提示し、関係機関への橋渡し役となれるよう、関係機関との連携体制を構築し、移住希望者等への相談対応や情報発信等を行うことを目的とする。

※1 たまかわくらし：一人ひとりが、自分らしい暮らしを福島県玉川村で実現すること。また、その暮らしぶり。

※2 たまかわくらしサポーターセンター：移住・定住の促進、関係人口拡大のためのトータルサポート窓口。

2 背景

玉川村(以下、「村」という。)では、近年の核家族化や共働きの増加、デジタル技術の急速な普及等による社会情勢の急激な変化に伴い、地域やコミュニティ、家族、仕事等への考え方や関わり方といった価値観の多様化が加速している時代の流れを捉え、既存の地域やコミュニティのあり方や行政と住民・地域外の人との関わり方にとらわれず、それぞれが自身の価値観に合わせた暮らし方を選択できる受け皿を、意識の面でも制度の面でも整備することで、ウェルビーイングな暮らしができる「選ばれる村」を目指している。

さらに、様々な価値観や暮らし方が融合することで新たなコミュニティの形成や強化とそれに伴う活動の活性化を促し、それらが地域活力向上の起爆剤となり、さらに新たなコミュニティや活動を生み出す好循環ができていくことを目指している。

3 業務内容

(1) 関係機関との連携体制構築

移住コーディネーターと共同で、職に関する関係機関へセンターの周知を図るとともに、定期的なヒアリングや情報共有を行い、センターと関係機関の連携体制を構築する。

(ア) 関係機関との定期的な情報共有

- ・たまかわくらしの「職」に関して、連携体制構築が必要な関係機関をリストアップし、各機関にセンターについての説明をするとともに連携について依頼する。
- ・関係機関については、担当者や連絡先、役割等をリスト化し随時更新を行い、管理すること。
- ・関係機関とは、商工会等の団体のみにとどまらず、村内や周辺地域の事業者、個人事業主なども含むものとする。
- ・リスト化した関係機関について、随時ヒアリングや情報共有を行い、その内容についてとりまとめ、必要に応じて関係機関内で共有する。
- ・ヒアリングする項目等については、関係機関の役割や特色等を踏まえた上で村と協議して決定する。
- ・ヒアリング等を実施した内容に基づき、他地域との比較や村の特色や強みを分析すること。
- ・移住希望者等の職に関するニーズについて、ふくしまぐらし相談センター(※)へのヒアリン

グや各種調査結果等により把握し、関係機関等へ情報提供できるようとりまとめること。

※ふくしまぐらし相談センター：福島県が東京都有楽町に設置する移住相談窓口。

- ・収集した情報や事業進捗について、村と1～2か月に1度の頻度で定例会を開催し共有すること。

(イ) 職場見学等協力事業者の掘り起こし

- ・上記（ア）の業務において連携体制を構築した関係機関のうち、移住希望者等に対しヒアリングや職場見学等に対応いただける協力事業者を3社以上掘り起こす。
- ・掘り起こした協力事業者については、移住希望者等に情報が届くような情報発信を実施する。
- ・主に協力事業者について、必要な人材（正規雇用にとどまらず、副業等幅広い人材活用を前提とする）等のヒアリングを行い、情報をまとめるとともに移住希望者等やふくしまぐらし相談センターに向けた情報提供を行う。
- ・センターの相談者等が協力事業者でのヒアリングや職場見学を希望する場合には、相談者等と協力事業者間の調整を行う。
- ・ヒアリングまたは職場見学について、3件以上の受入れを実施する。

(2) スケジュール管理

- ・業務の実施にあたっては年間スケジュールを業務ごとに作成し、村の了解を受けた上で、定期的に村へ進捗報告を行いながら適切に進捗管理を行うこと。
- ・年間スケジュールについては、村と協議の上、適宜修正すること。

4 履行期間

事業完了日：2026年3月25日までとする。

5 成果品

事業報告書 1部

上記3（1）の業務においてリスト化した関係機関一覧表

6 提出書類

受託者は、委託契約書に定めるほか、次に掲げる書類を提出する。

- ア 委託業務着手届
- イ 委託業務完了届
- ウ 実績報告書
- エ 上記5に示す事業成果品
- オ その他委託者が必要と認める書類等

7 必要事項の補充

本業務を実施するにあたり、本仕様書に明記されていない事項で技術上当然必要と認められる事項は、受託者の責任で補充するものとする。

8 検査

本業務の成果品、関係資料、作業の実施状況について、玉川村は随時検査を行えるものとする。また、事業完了後であっても過失または疎漏等に起因する問題が生じた場合は、事業者の責任で

速やかに対処するものとする。

9 完了

本業務は、運行報告書等、玉川村が必要と定める書類を提出し、玉川村の完了検査を受け、検査合格により完了とする。

10 その他

- ・本委託業務にあたり製作される成果物の著作権は村に譲渡するものとし、成果品については、村が二次的著作物を作成し、利用することができるものとする。
- ・受託者は、業務の遂行にあたり、村と適宜協議し、連絡調整を行うものとする。
- ・本仕様書に定めがない事項または仕様について生じた疑義等については村と受託者双方で協議の上、決定するものとする。